

事務事業名		危機管理対応能力強化事業(旧緊急連絡管整備事業)			会計	水道事業		実施区分		
H28担当課等名		水道課		H28係等名	上水道整備係		H27係等名	上水道整備係		
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
		施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	野底浄水場 上黒田配水池系において災害時に断水を回避できる給水人口(最大)				対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	緊急時に砂払浄水場から上黒田配水池系の使用水量の全量バックアップを可能とし、断水を回避する。					断水を回避できる給水人口(最大) = 1,700(m ³ /日) / 0.314(m ³ /人・日) = 5,500(人)		0	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度								
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	事業進捗率(%) = 単年度事業費(累積) / 総事業費			0	5	17	17		
	定性目標									
事業概要	野底浄水場上黒田配水池系の安定強化を図るため、砂払浄水場から下黒田配水池を経由しないで使用水量全量の送水を可能とする、今宮中継ポンプ場の整備を進める。									
27年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 今宮中継ポンプ場整備 (1) 用地取得(A=1,071m ²) (2) 詳細設計				1 今宮中継ポンプ場整備 (1) 用地取得 (2) 詳細設計			1 (1) 1式 (2) 1式		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		0	55,000	28,991	72,000					
国庫支出金										
県支出金										
起債		0	41,200	21,100	54,000					
その他										
一般財源		0	13,800	7,891	18,000					
人件費計(千円)②		358		3,576						
正規職員所要時間		100		1,000						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		358	55,000	32,567	72,000					
事業内容・目標達成状況の振り返り	今宮中継ポンプ場敷地の用地取得及び詳細設計について、計画的に進めることができた。									
改革改善の考え方	①問題点	道路改良等の関連事業計画との整合が必要								
	②改革提案	実施に向けて、送水ルート計画を作成し関係部署との調整を図る。								